

【様式1】 平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	岐阜市	学校名	岐阜高等学校			
校長名	南谷清司	対象学年	1～2年生	人数	13	人
活動名	鵜飼ボランティア (ESS部)	時間数	約50	時間	継続年数	1年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [] 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [] ③ 文化（ 芸能・芸術 民話・風習・その他） [鵜飼の研修講義への参加] 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [] ⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動等 [鵜飼案内ボランティア] 6 その他（ ） []					
複数年継続するための工夫改善	・ボランティア活動において、よりよい案内となるよう、普段から会話練習を活動内に盛り込み、今後の鵜飼観覧船事務所からの依頼にも対応できるよう指導している。					
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1300年の歴史を持つ「長良川鵜飼」という地域の観光資源を詳しく調べることで郷土愛をはぐくむ。 ・海外からの観光客が多い点を生かし、英語を通して地域に貢献する。 ・生徒が英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や、情報を適切に伝えるコミュニケーション能力を養う。 <p>2 活動の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ①外国人への通訳、鵜飼説明 ②道案内を含む周辺ガイド ③日本語と英語を併記した図解資料（絵や写真、ポスター）の作成 ④鵜匠による説明の補助 ⑤国内外著名人（オバマ大統領、イギリス王室など計35通）に鵜飼への招待状を作成し、郵送 <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に研修を受けボランティアをして、鵜飼の歴史についても学び、異なる年齢層の人と話す貴重な体験となった。 <p>4 活動を通しての児童生徒の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な言語の使用場面を設定し、普段学んでいる英語が、実際にコミュニケーションの道具として使うことができるという経験を通して、普段の部活動への取り組み方がより積極的になった。 ・国内外の有名人への招待状、ボランティア、プレゼンテーション大会参加、新聞各紙、テレビ等からの取材を通して、鵜飼という地域の伝統文化をより多くの人に知ってほしいという熱意を多くの人々に伝え、自分たちが地域に貢献できるという意識をもつことができた。 ・身近にありすぎて感じることの少ない地元の良さに改めて気付くことができた。 						